

## 「わくわく算数・数学教室」5日目 ～絶妙な距離感～

わく算5日目です。連日、わく算にはさまざまな方が子どもたちやSPさんの活動の様子を見に来てくださっています。大学の先生、片葩小の先生、東浦町長、教育長、そして今日は町役場政策課の職員が町の広報誌にわく算のことを掲載するための取材に来ていました。また、町内の小学校の先生も見に来ていました。その先生が、午後の部の様子を見て「自分ならすぐに答えてしまいたいところを、SPさんはグッとこらえてタイミングを見計らっている。グッと堪えると子どもたちの方から質問してきて、それにすぐに答えている。すごいですね。こんな絶妙な距離感で指導ができるのですね。」と話してくださいました。現場の先生にこう言っていただけるのは、とても嬉しいですね。



←連日参加しているSPさん。どんな子どもとの距離感、関係づくりが上手くなっています。子どももですが、SPさんの成長速度もすごい！日に日にアップグレードしていくSPさんに驚かされる毎日です。

### 今日の午後の部から、「わくわく数学教室」も始まりました！→

午後、町内から続々と中学生が集まってきました。とても落ち着いた雰囲気の中で集中して勉強する中学生。小学生とは一味違います。SPさんも小学生とはまた違った距離感で接してくれているように感じました。数学にじっくり取り組みながらも、SPさんや周りの友達と談笑も交えながら、終始とても温かい心地よい空気感でした。「なるほど！」「わかった！」こんな声もあちこちから聞こえてきました。



←1人でじっくり取り組みたい子、友達と一緒に取り組みたい子、先生と相談しながら進めたい子、いろいろな子が今日もいましたね。その子がどうしたいか？それをすぐに見取れたら、プロ！“見取る力”は一朝一夕につくものではなく、膨大な経験が必要かと思います。でも、目の前の子が「何を考えている？」「どう思っている？」と“見ようとする”ことはできます。子どもたちが見せてくれる素直な反応をまずはよく見ること！あれ？と思ったらそこで修正してもらえればOKです。